

能と狂言

鍊仙会

TESSENKAI

青山能

2026年9月27日(日)

【2部】午後4時開演(午後3時30分開場)

会場 鍊仙会能楽研修所

狂言

酔薑

すはじかみ

野村万之丞

能

善知鳥

長山 桂三



狂言 酔薑

シテ 酔売り 野村万之丞
アド 薑売り 野村拳之介

能 善知鳥

前シテ 後シテ 獵師 長山 桂三
ツレ 獵師ノ妻 青木 健一
子方 千代童 青木 響平
ワキ 旅僧 館田 善博
アイ 所ノ者 石井 康太
笛 梶宅 聡
小鼓 曾和伊喜夫
大鼓 佃 良勝
地頭 谷本 健吾

酔薑

摂津国の薑(生姜)売りが都で商いをしていると、後から堺の酔売りがやって来て同様に商いを始める。薑売りが代々この地の商人司である自分の断りなしに商売はならぬと言いと、酔売りも自分も先祖からの商人司だと言ではないか。

薑売りは薑にことよせて「から」を、酔売りは「す」の文字を織り込んで自分たちの系図を語り、さらに「から」と「す」で秀句(洒落)を言い合って、勝者が商人司となることとするが...

善知鳥

越中立山を訪ねた旅僧は、陸奥外の浜の獵師の亡霊だと言乗る老人に出会う。老人は妻子へ蓑笠を手向けてほしいとの伝言を僧に頼み、証拠として衣の片袖を託して消える。旅僧は所の者の案内で獵師の妻子に片袖を渡すと、それは確かに夫が生前身に付けていたものであった。妻子は蓑笠を手向けて僧とともに回向を始める。すると獵師の霊が現れ、我が子に近付こうとするが、親鳥を利用して子鳥を捕った生前の報いでそれも叶わない。獵師は殺生を生業とする浅ましさを語り、地獄で善知鳥に責め立てられる陰惨な様を見せ、救いを求める...

決して逃れることの出来ない地獄の苦しみを陰惨かつ執拗に描き、見る者に強烈な印象を与える能。

〈午後5時35分頃終演予定〉

終演後に能楽小講座あり。その日の演目を中心に、能楽師が初めての方にも分かりやすくお話し致します。

- ◎より詳しい解説を鑊仙会ホームページにて順次公開しております。ご観能前に是非ご覧下さい。
- ※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。
- ※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
- ※客席内での飲食はご遠慮下さい。
- ※混雑状況や準備の都合により、開場時間が前後する場合がございます。

会場：鑊仙会能楽研修所(全自由席)

〈交通〉地下鉄表参道駅下車
(銀座線・千代田線・半蔵門線)
A4出口より徒歩3分

〒107-0062

東京都港区南青山4-21-29

TEL03-3401-2285

※駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮下さい。

入場料：一般 5,000円

U25(25歳以下) 2,500円

ペンチ席 5,500円(正面最後列)

回数券 定期公演・青山能共通/5枚限り

一般回数券 22,000円

U25(25歳以下)回数券 110,000円

※2026年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。

ご予約受付中。詳しくは鑊仙会までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み：鑊仙会

電話 03-3401-2285(平日10-17時)

ホームページ <http://www.tessen.org>

予約受付開始：2026年5月11日(月) WEB10時、電話13時



鑊仙会定期公演〈10月〉予告 会場：観世能楽堂

10月9日(金) 午後6時開演

舞臺子 山姥

狂言 魚説法

能 野宮

青山能〈10月〉1部 予告

10月25日(日) 12時開演

狂言 浮舟

能 融

10月25日(日) 午後4時開演

青山能〈10月〉2部 予告

会場：鑊仙会能楽研修所

浮舟 彩色

融

10月25日(日) 午後4時開演

青山能〈10月〉2部 予告

会場：鑊仙会能楽研修所

融

